

(第6条関係)

事業計画書

事業名	笑劇で施設利用老人を元気にする事業
団体名	浅間台笑劇研究部

取り組もうとする 松戸市のテーマ (課題)	松戸市総合計画基本構想で、全市民が生活に合わせた成長発達ができ、いつでも心のはりをもった豊かな人生を送れるように保健・医療・福祉の機会の拡充が謳われています。松戸市における要支援・要介護認定者総数は17,174名(2014年時点)であり、その方達の多くが市内の老人福祉施設で介護の提供を受けています。 この施設での、質の高い介護等の提供等のベーシックな対策と共に、こころの豊かさを増大させ、人生に潤いを与える精神的な働きかけの具現化も大きな課題です。
事業の目的	前述課題の具現化の為に、日々にして恒常化しやすい老人福祉施設利用の方々の日常生活の一時を、笑って頂き、楽しんで頂き、そして心にはりを持った豊かな生活を送る一助となるべく、老人福祉施設で「笑劇」を演じることが事業の目的です。 併せて、公演で福祉施設利用の方々の笑いと喜びを、私達部員が共有することも大きな目的です。
事業内容	<p>1 事業内容</p> <p>① 古今東西のミュージカル・映画・歌舞伎等の名場面を研究する</p> <p>② その名場面を選択して、メロードに繋ぎ合わせて、脚本を制作する (1回/年のペースで制作)</p> <p>③ 部員でキャスト(配役 カラス)とスタッフ(演出 台本 音楽 美術)をシェアの上、練習を行い、舞台で演じられるまでにスキルを高める</p> <p>④ 並行して、必要な大道具・小道具・衣装を製作する</p> <p>⑤ 主に松戸市社協ボランティアセンターを通じて松戸市内の老人福祉施設に演劇のPRを行い、出演依頼を募る</p> <p>⑥ 希望ある福祉施設で、公演を行う ターゲット：1回/月 ボリューム：1回/2カ月</p> <p>⑦ 公演ごとに反省会を行い、観客の満足度・反省点を明確にして次回公演にフィードバックする</p> <p>⑧ 福祉施設での公演の更なる充実の為に、笑劇以外のプログラム(出し物)を開発し、笑劇の前座として演じる (お笑いヨガ・パルソアート・詩吟等)</p>

2 スケジュール													
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
① 定期総会		●											
② 新プログラム 作成		●	●										
③ 道具・衣装作成		●	●										
④ 定例会 練習		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
⑤ 施設への公演 PR		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
⑥ 公演のアンケート作成		●											
⑦ 老人福祉施設での公演会		●	△	●	△	●	△	●	△	●	△	●	△
⑧ 反省と活動計画													●

(凡例) ●: 必ず実施 △: 出来る限り実施

既存の事業からステップアップする部分 ※ステップアップ助成のみ																			
事業の目標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目標</th> <th>評価対象</th> <th>数値目標 (H29 年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 老人福祉施設で多く公演をする</td><td>公演回数</td><td>6回以上 ターゲット 12回</td></tr> <tr> <td>② 老人福祉施設で多くの老人に見てもらう</td><td>延べ観衆</td><td>200名以上 ターゲット 400名</td></tr> <tr> <td>③ 老人福祉施設で多くの老人に笑い喜んで頂く</td><td>アンケートで面白かった</td><td>80%以上</td></tr> <tr> <td>④ 新プログラムと脚本を作成する</td><td>脚本作成</td><td>1本</td></tr> <tr> <td>⑤ 練習を継続的に行う</td><td>練習回数</td><td>12回</td></tr> </tbody> </table>	事業の目標	評価対象	数値目標 (H29 年度)	① 老人福祉施設で多く公演をする	公演回数	6回以上 ターゲット 12回	② 老人福祉施設で多くの老人に見てもらう	延べ観衆	200名以上 ターゲット 400名	③ 老人福祉施設で多くの老人に笑い喜んで頂く	アンケートで面白かった	80%以上	④ 新プログラムと脚本を作成する	脚本作成	1本	⑤ 練習を継続的に行う	練習回数	12回
事業の目標	評価対象	数値目標 (H29 年度)																	
① 老人福祉施設で多く公演をする	公演回数	6回以上 ターゲット 12回																	
② 老人福祉施設で多くの老人に見てもらう	延べ観衆	200名以上 ターゲット 400名																	
③ 老人福祉施設で多くの老人に笑い喜んで頂く	アンケートで面白かった	80%以上																	
④ 新プログラムと脚本を作成する	脚本作成	1本																	
⑤ 練習を継続的に行う	練習回数	12回																	
今後の展望	<ol style="list-style-type: none"> 多くの福祉老人施設で、本笑劇の公演が定着する そして、多くの施設利用者が、定例化した公演を心待ち頂けるまでにする 部員数を増やして、複数のグループを創り、並行的に笑劇の公演ができるようにする 大ホールで老人福祉のための公演を行う 笑劇プログラムを数多く所有して、演じられるようにする 笑劇以外の出し物・イベントを数多く開発する 																		

(第6条関係)

事業の予算概要

【収 入】※ 事業についての補足書類は添付できません。

(単位：円)

科 目		金 額	積算内訳
団体	部員年会費	¥ 31,000	1,000円（1人当年会費）*31名（部員総数）
	自己資金の合計額（A）	¥ 31,000	
市	市民活動助成金（B）	¥ 100,000	
合計額（C） = （A+B）		¥ 131,000	

【支 出】

科 目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	消耗品費	¥ 30,000	平成29年度大小舞台道具 製作費
		¥ 50,000	平成29年度舞台衣装代
		¥ 11,000	平成29年度版ナリオ製作 1,000円 プリント代 10,000円
		¥ 5,500	平成29年度音楽DL代 250円*10曲 平成29年度音楽用CD代 300円*10枚
		¥ 6,000	パネルアート配布パネル代 1,000円*6回
	印刷製本費	¥ 10,000	公演ポスターの印刷代 100円*100部
	対象経費の合計（D）	¥ 112,500	
その他経費	備品	¥ 6,500	音楽編集ソフト購入
	通信運搬費	¥ 6,000	公演会場への大道具・衣装の運搬費 500円（1台費用）*6回*2台
	使用料及び賃借料	¥ 6,000	定例会・練習の会場費 1,000円（会議室賃借料）*6回
	その他経費の合計（E）	¥ 18,500	
合計額（F） = （D+E）		¥ 131,000	

*老人福祉施設での公演の為の、部員各位の交通費・食糧費は個人負担とします

【チェック項目】

- 助成金（B）が、対象となる経費（D）欄の90%以内であること。
- 自己資金（A）欄が、「対象経費（D）欄の10%以上」であること。
- 助成金（B）が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。